

高松支部 活動報告

1 研究主題

生き抜く力を育むための
メディア教育の在り方

2 はじめに

タブレット端末は教育機器としての魅力も備えていると考えられ、教育現場への導入が急速に進んできている。しかし、活用を促進するに当たっては、教員の ICT に関わる実態や校内の教員構成にもよるが、実践事例の積み重ねが不足しているのが各校の課題である。そこで、高松地区メディア教育部会では、成果のあった実践例を紹介し合ったり、各校に導入されている機器について実技研修をしたりすることで、メディア教育担当教員の指導力の向上を図りたいと考えた。

3 研究計画

(1) 第1回主任研修会(4月23日屋島中学校)

- ① 昨年度の報告と今年度の計画
事業報告及び会計報告
役員選出及び事業計画
- ② 研究主題について
- ③ 研究組織について
- ④ 研究計画について

〈平成27年度役員等〉

部会長	岩井 秀樹	屋島中 校長
副部会長	佐々木啓祐	香東中 校長
主任	山下 敏也	高松第一中
副主任	柴田 恒	三木中
庶務	室園 恭規	屋島中

(2) 第2回主任研修会(6月24日高松第一中学校)

- ・ デジタル書画カメラの操作方法およびハイスピードカメラの機能紹介
講師：カシオ高松営業所 竹下裕子 様

(3) 夏季研修会(7月29日香川県教育センター)

- ① タブレットの実技研修および講義
講師 香川県教育センター主任指導主事
氏家 徹也 先生
- ② タブレット活用の実践事例報告
香南中学校 木下 雄貴 先生

(4) 第3回主任研修会(10月1日高松第一中学校)

- ・ NHK for school を活用した実践事例の紹介
牟礼中学校 富田 順一 先生

(5) 第4回主任研修会(2月24日高松第一中学校)

- ① 27年度のまとめと反省
・ 高松支部活動報告書より
- ② 28年度の研究計画や研究組織について

4 研究内容

(1) デジタル書画カメラ YC-470 の研修

各校にデジタル書画カメラが導入されているものの、授業等で活用されている学校は少ない。そこで、メーカーのインストラクターの方からソフトのインストール、セッティングから始まり、便利な機能や操作方法を説明してもらう研修を行った。



〈講師によるデジタル書画カメラの研修〉

(2) ハイスピードカメラ・C-Assist の研修

6月の研修会で、学校現場でも活用できるハイスピードカメラとCASIO C-Assist(アプリケーションソフト)の紹介をしていただいた。CASIO C-Assistは、CASIOのプロジェクターを接続し、Android 端末上の文書や画像の投映、内蔵カメラのリアルタイムでの投映、ブラウザの投映を行うことが可能なAndroid アプリケーションである。スマートフォンの普及が一般的となった現代では、スマートフォンで撮った画像を瞬時にプロジェクターで大写しできるこのアプリは、大変効果的に活用できそうである。例えば、生徒の書いた感想や途中の計算式などを教員のスマートフォンから映像として全員に見せたり、プロジェクターだけでなく同じネットワークに接続されたPCをリモート操作したりすることができ、効率的な授業やスマートなプレゼンも行える。

ハイスピードカメラは長時間の変化を短時間に圧縮し、半日から数日の長いスパンで撮影できるインターバル撮影や、時間の間隔をあけて撮影した写真をつなぎ合わせ動画にするタイムラプス、目に見えないスピードの画像を動画にするハイスピード撮影などの機能がある。

これらの機能を使って、月の満ち欠けの映像や、花の開花の様子、生物の孵化や振り子の運動など、本来ならば見ることでできない画像が鮮明に映し出され、特に理科の授業で活用できそうである。また、美術の授業で制作工法や筆の使い方を見るといった使い方もできるであろう。

(3) タブレット研修

香川県教育センターにおいて、下記の内容で研修会を行った。

- ① タブレットの利用に関する講義と実技操作
- ② タブレット活用の実践事例報告

まず①のタブレット利用に関する内容では、講師の県教育センター主任指導主事 氏家徹也先生から、電子黒板を使いながら、分かりやすくプレゼンしていただいた。主な項目は、

- A：タブレット端末の特徴と授業での活用
- B：タブレット端末の有効活用のための研修
- C：課題とその解決

の3点で、それぞれ具体的に内容が示された。

タブレット端末の有効活用に関するアンケート調査では、香川県の中学校は全国46位という低位な位置にあるということを知り、驚くとともに、今後の研修と実践を急がなくてはならないと思った。最後に新しくなった香川県教育センターのICT機器が紹介された。



＜氏家先生の講義の様子＞

次に②のタブレット活用の実践事例報告では、高松市立香南中学校 教諭 木下雄貴先生から実践事例の報告があった。香南中学校では、

- ・ 教科での利用
- ・ 調べ学習や総合的な学習の時間での利用
- ・ 部活動での利用

が上げられた。実践の一つとして、社会科の授業では、桜島に暮らす人々について調べを進めていく授業が紹介された。インターネットですぐに調べられ、動画も見ることのできるタブレット端末は小回りが利き、授業の内容によっては重宝するという発表に感心した。しかし学校全体で見るとタブレット端末の活用はまだ低調で、内容が限定的であり、発表後の質疑では、使いやすい環境の整備と教員研修の実施についての質問も出た。今後の課題としては、

- ・ インフラの整備
- ・ データの保存と管理

- ・ 写真撮影の注意(特に生徒が写る場合)
- ・ ソフトウェアやアプリのインストール時の許可申請
- ・ 教材研究に費やす時間と効果の関係など、様々なことが示された。



<木下先生の発表の様子>

(4) NHK for school を活用した授業実践例

NHK のEテレでは、ここ数年学校向けの番組が充実しており、年間を通した利用ガイドも毎年発行されている。これらを活用し計画的に放送番組をストックすることで、安価に最新のビデオ教材のライブラリーを作成することが可能になっている。さらにテレビのデジタル化により、番組表を使って毎週の番組を自動的に録画したり、家庭用のDVDの録画再生機で必要な場面だけを切り取り編集したりすることも手軽にできるようになっている。(具体例として、御嶽山の噴火に関するニュースを編集し10分程度にまとめた資料を作成した)

これまでの授業実践において、よく使われた番組は「10min.ボックス」、「道徳ドキュメント」、理科では「マイクロワールド」、「大科学実験」であった。これらに共通するのは、視聴時間が5分～15分と授業で扱う時間として手頃である点が上げられる。さらに、読み物や写真資料よりも臨場感があり、学習内容の理解の支援にもつながる効果が期待される。

高松支部では、第3回の研修会において各校

で実践事例を持ち寄っての情報交換を行った。事例としては道徳についてのものが多かった。道徳や総合的な学習の時間(職場体験学習等)においては、DVDに加えて、指導案やワークシート、写真資料といったものをワンパッケージにして保管しておくことと利便性が高まり、活用の頻度も増えていくと予想されるので、継続的に実践をしていきたい。



<富田先生の実践事例の紹介>

5 今後の課題

タブレット端末の有効活用に関するアンケート調査では、香川県の中学校は全国46位という低い結果がでている。今後、学校へタブレットの導入を考えていく際には、前提として、ネットワーク環境の整備と全ての教職員がどの授業におも活用できるような基礎づくりが重要である。そして、学習指導要領の趣旨をしっかりと押さえながら、教師も子どもたちもこれらのICT機器に慣れ、タブレット授業経験を積んでいくことが必要であると考える。